



The Masters of
Sekisyu-Kawara

TSルーフ (石州J形53B)

石州防災瓦 トリプル・セーフティ TSルーフ

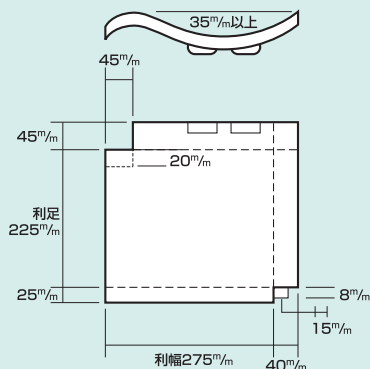
自然との共演のために…

自然との調和は、見た目だけでは語れません。
厳しい自然環境をも受け止める、強固な防災性能こそが
自然と共存してゆく建造物には必要な要素です。
石州防災瓦「TSルーフ」は、景観と防災性能を
高次元で兼ね備えた究極の屋根材です。

100年瓦・石州

石央瓦販売株式会社

製品仕様 (JIS規格53B形)



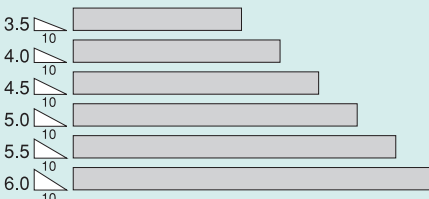
寸法	全長295mm(±4mm)全幅315mm(±4mm)
働き寸法	長さ 225mm(±4mm) 幅 275mm(±4mm)
葺き枚数	16枚/m ² ・53枚/坪
重量	45kg/m ² ・150kg/坪

項目	製品規格	試験方法
曲げ破壊荷重	1960N以上	JISA5208 5.3
吸水率	10%以下	JISA5208 5.4
凍害試験	25回の繰り返しで異常なし	JISA5208 5.5
耐薬品性能	異常なし	JISA5209 7.13
耐風性能試験 瓦屋根標準設計・施工 ガイドライン標準試験	3600N/m ²	

※上記製品性能値は試験結果であり、保証値ではありません。

●TSルーフ瓦の標準屋根勾配と流れ長さ

勾配 流れ長さ 6m 8m 10m 12m 14m 16m 18m 20m



※この性能値は、保証値ではありません。
強風、雨量など地域性や施工物件(高さ・構造等)に応じて適切に対応して下さい。

COLOR VARIATION



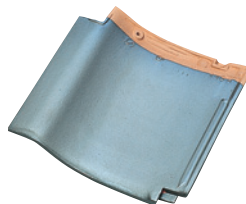
銀黒色



鉄砂色



赤色



いぶし色



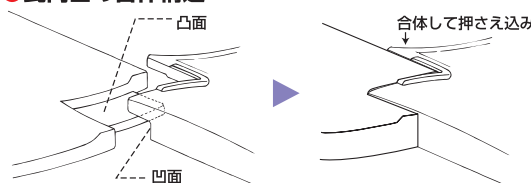
来待色

※上記以外の特注色については事前にご相談下さい。
※標準色と特注色では単価が異なります(色種類によって単価が異なります)。
※写真は印刷のため、実際の色と多少異なることがあります。

耐風 SYSTEM

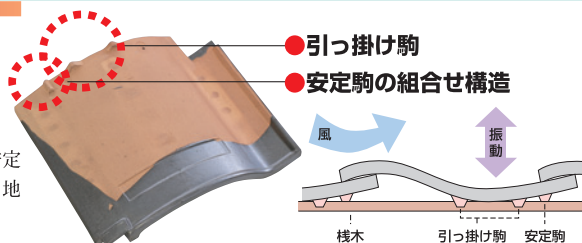
従来のお尻部分に設けた重なり板で、瓦同士を押さえ込み合体構造。風による瓦の浮き上がりを阻止。特に左下からの逆風に、大きな威力を発揮します。

●瓦同士の合体構造



耐震 SYSTEM

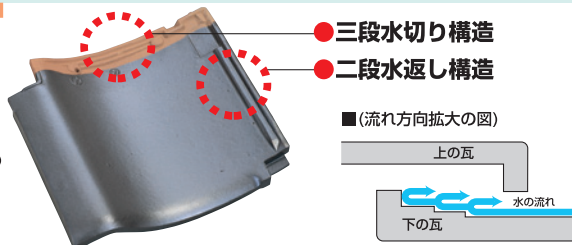
瓦同士の押さえ込みシステムと引っ掛け駒・安定駒組合せ構造によって、屋根全体を軽量化。地震によるズレや浮きあがりをガッチリ防ぎます。



●引っ掛け駒 ●安定駒の組合せ構造

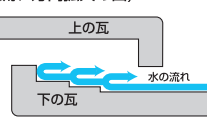
防水 SYSTEM

流れ方向に三段の水返し、桁行き方向に二段の水切りを設け逆水を強力にハネ返します。だから三寸の緩勾配屋根も施工可能です。



●三段水切り構造 ●二段水返し構造

■(流れ方向拡大の図)



100年瓦・石州

石央瓦販売株式会社

本社 〒695-0024 島根県江津市二宮町神主1820番地5
TEL (0855) 53-0521 FAX (0855) 53-3935

益田支店 〒699-5133 島根県益田市神田町イ627番地1
TEL (0856) 31-5115 FAX (0856) 25-2100

福井営業所 〒918-8016 福井県福井市江端町5番地11
TEL (0776) 34-8613 FAX (0776) 34-8614

粘土瓦の特性について

粘土瓦は天然のため、下記のような現象が発生する場合がありますが、製品欠陥ではなく、品質上の問題はまったくありませんので安心してご使用ください。
【色ムラ】粘土成分の微妙な違いや、焼成窯内の環境の変化により微妙な色合いが発生することがありますが、品質上の問題はありません。
【貫入】釉薬表面に発生する細かい亀裂を貫入といいます。これは粘土と釉薬の収縮率の違いから生まれる自然現象であり、品質上の問題はありません。
【ピンホール】釉薬表面に発生する小さなへこみをピンホールといいます。これは釉薬の気泡や粘土に若干含まれている有機物が焼成によって消滅することで生れますが、品質上の問題はありません。

安全に関するご注意

●粘土瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工業者ににご相談ください。工事に不備があると、落下・雨漏り等の原因になることがあります。
●寒冷積雪地域、強風地域、あるいは中高層の建築物では、特殊な工事が必要とする場合があります。こうした条件で粘土瓦を使う場合には、専門工業者ににご相談ください。
●粘土瓦を使った屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合は、専門工業者ににご相談ください。